

大気環境委員会

大気環境委員会では、地球温暖化対策や大気汚染物質の削減に関する取り組みを実施しています。

2020年度は、CO₂排出量の削減を目的に「ナイトタウンキャンペーン」を実施し、節電への呼びかけを通じて空港従業員などの意識啓発を行いました。

また、CO₂や大気汚染物質の削減策として、成田国際空港に到着する乗客へ「アノドリノグアスト」などと呼ばれる「エコドライブ」を呼びかける「エコドライブキャンペーン」をボスタターなどを通じて周知啓蒙を行いました。



広報委員会

広報委員会では、空港従業員への意識啓発や広報活動として、毎年「成田空港エコドライブナイトタウン運動」など、空港スタッフ参加型の啓発イベントを実施しています。

また、成田国際空港における乗客への取り組みや意識啓発活動より多くの方々に知っていただくための、成田国際空港Webサイトや旅客ターミナルビル内におけるPR内容のさらなる充実を図りました。また、本報告書内でも一部作品を掲載しています。今年度の空港啓蒙作品はP36をご覧ください。



撮影者：Nakamura 慎
撮影場所：成田航空学校

地域相談センター

航空機騒音などの環境問題や空港の運営に関するご要望・意見をうかがい、地域の方々の相互対話を推進するため、空港周辺の5カ所に北地域相談センター（千葉県成田市）、南地域相談センター（千葉県山武郡芝山町）、東地域相談センター（千葉県香取郡多古町）、山武地域相談

社会とのコミュニケーション

当社は、成田国際空港の環境への取り組みについて、空港周辺地域の方々はもちろん、より広く一般の方々にも知っていただけるよう努めています。将来を担う子どもたちを対象とした環境教育や、環境展示会への出展など、い

センター（千葉県山武郡旗本町）、茨城地域相談センター（茨城県龍崎郡河内町）を設置しています（P57参照）。いただいたご意見については、関係部署に共有し、環境対策に反映しています。

ろいろな機会を活用して、成田国際空港における環境施策を紹介しています。そのほか、顧客・大気分野などの環境関連学会に参加し、最新の動向などについて情報交換を行っています。

STAFF VOICE

癒しがテーマの「空の湯」にエコファクトギャラリーを



三井オプティクス株式会社 ラーゲルレンズ & フローエッセンスソリューション 眞鍋 伸吾 氏

成田国際空港をより身近に感じていただきたいという思いから、「空の湯」でエコファクトを展示しています。当初は大物印刷によるボスタターの展示案でしたが、よりエコにつながる展示を検討し、大画面テレビを活用しています。作品の中には、これまで気付かなかったゾーンを切り取ったものもあり、「空の湯」の近くに集積らしいスポットがあることを知りました。エコファクトは、空の湯が自誇する「空」の親和性が高いので、今後も引き続き展示したいと考えています。また、当該敷地内の豊のある和風庭園も、展示場に選ばれるよう整備してまいります。



周辺地域とのコミュニケーション

当社では、環境に配慮し、地域と共生する空港を目指すことを経営ビジョンに掲げ、継続的に周辺地域との環境コミュニケーションを図っています。周辺市町の担当者と

密に連携を図っているほか、成田国際空港環境対策委員会や市町の議会、住民説明会、地域行事などを通しての意見交換を実施しています。

地域貢献活動

新型コロナウイルスの世界的な感染拡大の影響により、例年、当社で参加していた空港周辺市町の地域行事の多くが中止や延期を余儀なくされていますが、地域行事への参加は、住民の方々のコミュニケーションを図る大切な場であると同時に、内陸空港である成田国際空港にとって地域との共生・共栄が必要不可欠であることを直に感じることでできる貴重な機会です。

2021年度は新入社員を中心に、空港周辺市町が実施した「保国園

清掃作業」や「あじさい町定作業」へ参加しました。周辺地域の豊かな自然の肌、地域の方々と空港で働く航空会社社員との交流などを通じて、地域の一員として成田国際空港が果たす役割について考えることができました。



成田市での保国園清掃作業

空港内外クリーンアップ運動

お客様に気持ちよく空港にお越しいただけるよう、2004年度から、夏と冬に当社と芝山町との共催で空港南側エリアの道路美化清掃を実施しています。

2005年度からは規模を拡大し、エコエポータ推進協議会、CS協議会との共催で、空港関連事業者とともに空港内の道路美化清掃もあわせて行い、さらに2012年度からは、空港内エプロンエリアにも拡大して実施しています。

例年、約500名程度の空港事業者が参加していますが、新型コロナウイルス感染症防止の観点から、2020年12月の第41回クリーンアップ運動[※]では規模を縮小し、空港内外あわせて53事業者、約150名が参加しました。2021年6月の「第42回クリーンアップ運動」でも引き続き規模の縮小を行い、空港内外あわせて60事業者、約180名が参加しました。



空港南側のクリーンアップ運動

※CS協議会
成田国際空港を核とするCS（空港集約地帯）向上を目的として、お客様と直接する機関で構成され、さまざまな活動を実施している。

環境情報の公開

当社は、成田国際空港における環境対策の実施状況やその結果について、空港内外の皆様にご理解いただけるよう、広く情報を公開するとともに、積極的に取り組みを発信しています。

環境報告書については、NAAホームページへの掲載はもちろん、空港関連事業者や周辺住民などに配布するほか、全国の図書館や大学などに送付するなど、読者層の拡大に努めています。さらに、環境報告書をより多くの方に読んでいただけるよう、環境報告書などの無料請求サイト（エコほっとライン）に登録し、電子版での閲覧や冊子請求をできるようにしています。

また、空港利用者にも成田国際空港の取り組みを知って

いただけるよう、環境報告書のダイジェスト版を作成し、旅客ターミナルビルなどで配布しています。

環境報告書2020配布先内訳

